

わたしとココ

三年 小池咲良

わたしは、うさぎを家ですべて飼っています。うさぎを飼った理由は、お父さんの仕事のけいさつしよで、ほごされているうさぎがいると聞きました。そのうさぎは、コインランドリーにすてられていたそうです。かいぬしが見つからなければうさぎは、ほけん所へ、つれていかれてしまう予定でした。どんなうさぎだろう、と思って、お父さんに、うさぎのしゃしんを見せてもらいました。とても小さく、白く茶色いぶちのあるかわいいうさぎでした。

わたしは、そんな小さなうさぎが、ほけん所につれて行かれてしまうのは、かわいそうなのでいのちをまもつてあげたいと思いました。

わたしは、お父さんと、お母さんに、

「このうさぎをお家でかいたい。」

と言いました。すると、お母さんに、

「動物をかうのはかんたんじゃないよ。」

と言われてしまいました。

わたしは、お父さんといっしょにうさぎの事を知ろうと思いました。うさぎの食べ物の事や、おせわの仕方、気持ちの表し方を本やインターネットで調べました。

そして、わたしは、お母さんに毎日うさぎのおせわをするやくそくをして、うさぎをむかえました。

その後、びょういんに行き、オスカメスが見てもらい、びょうきのチェック、どのぐらいの年か調べてもらいました。四か月の男の子で、「ココ」という名前にしました。

うさぎをかいはじめた時は、まだなついていなく、かまれることもありましたが、それから、早おきをして、学校へ行く前におせわをしたり、遊んだりしたら、なついてくれました。今では、うさぎの気持ちが分かるようになりました。

ココの事で、ほけん所の事や、うさぎのほごについてはじめて知りました。動物の見た目や、おせわがかんたんそうなど、正しい知識がないまま、動物をかって、自分かってにすててしまうのは、むせきにんだと思います。わたしは、家ぞくになったココの気持ちを考えながら、これからしたいせつにおせわしていきたいです。

そして、ふこうな動物たちがへるように、わたしができることを考えていきたいと思っています。